

～礼儀と節度を考える～



平成武師道

〈人間活動学〉

実るほど頭を垂れる

稲穂かな



十月半ば、朝のランニングをするには最高の気候である。少し肌寒いぐらいが熱くなった体には調度良く、走る距離の方も伸びていくものだ。スポーツの秋とは上手く言ったもので、今の季節を逃したらいつ走るのだろうと思うぐらい走りやすい。チャンスはなかなか訪れないもの。いつの間にかチャンスが目の前に現れていても意外と気づかないもの。結構、そのようなケースが今までの人生の中であったのかも知れない。やはり、チャンスは自分の心で感じた時に迷わず動く事だと思う。ゴロゴロ寝ていても同じ時間が過ぎるなら、結果はどうあれ、まずは動いてみることはないだろうか。いつも、私は口癖のように「運動しよう！」と言っているが、“運動”はすなわち“運”を“動”かす事につながっていくのである。「早起きは三文の得」と言うように、朝少し早く起きて走ってみるなり、散歩してみるなりするだけでも昨日とは違う自分を見つけ出すことができるに違いない。晴れて気持ちの良い天気、雨が降りそううっとうしい天気、毎日それぞれ違う顔を持つ天気。同じ晴れでも全く同じではない事に気付く感覚。そんな気持ちを持って生活してみるといろいろな事が見えてくる。そして、自分が変わり、周りも変わってくるだろう。とにかく今の季節、何か一つ新しい事に取り組んでみてはいかがだろうか。

佐々木